

(I)

正倉院宝庫は、三角材を井桁に積み上げた校倉造で、高床式
の構造をもつ。宝物は、大仏開眼会など東大寺の仏教儀式の
用具や、光明皇太后が東大寺に寄進した聖武太上天皇遺愛の
品からなり、鳥毛立女屏風や螺鈿紫檀五絃琵琶といった調度
品・楽器や武具など多様な品々を含む。当時の工芸技術の最
高水準を示す品々からは、強大な唐王朝を背景に展開したシ
ルクロードを介した東西交流の影響がみられ、国際性豊かな
貴族文化がうかがえる。(200字)

(II)

鎌倉幕府は御家人を異国警固番役に動員するなど警戒体制を
強化するとともに、朝廷から非御家人の動員権や本所一円地
からの物資徴発権を得た。これにより幕府の支配権は全国的
に強化されたが、過重な戦費・警備の負担や不十分な恩賞の
ため御家人の窮乏化が進み、幕府の軍事基盤である御家人制
は動揺していった。一方、北条氏一門が幕府要職や守護職を
独占するなか北条氏の家督である得宗の権力が強大化し、得
宗専制政治が確立した。(200字)

(Ⅲ)

田沼意次は、年貢増徴が限界に達するなか、商品流通や商人
の成長に着目し財政再建をはかった。都市や農村の商工業者
に株仲間結成をすすめて運上・冥加の増収をはかり、特定の商
人に銅座などを結成させ専売制を強化した。長崎貿易では銅
や俵物を輸出して貨幣鑄造のための金銀の輸入をはかり、南
鐮二朱銀鑄造による金銀通貨の一本化や町人資本による印旛
沼・手賀沼干拓などの新田開発も試みた。以上の政策により
幕府の収入は増加した。(200字)

(Ⅳ)

明治初期、殖産興業を進める政府により、新橋・横浜間ついで
神戸・大阪・京都間に官営鉄道が敷設され、大都市と開港
場が結びつけられた。産業革命期、東京・神戸間で官営東海
道線が全通する一方、初の民営鉄道会社である日本鉄道会社
の成功を機に民営鉄道の設立が相次ぎ営業キロ数で民営が官
営を上回った。日露戦争後、軍事輸送の強化や鉄道の統一的
管理をはかる鉄道国有法により、主要幹線の民営鉄道会社が
買収され国有化された。(200字)